

■高碓達之助 実業家、政治家。戦前は、満州重工業開発総裁、〈敗戦〉後は、“LT貿易”で日中国交改善に貢献。
たかさきたつのすけ
内閣発足・・・1885＝ 大阪府高槻で、紺屋を兼ねる農家の3子に生まれる。母は再婚で連れ子が2人いて、全部で9人兄弟。
母の実家の酒屋に預けられて育つが、やんちゃぶりが激しく、

帝国憲法発布1889＝ 4歳：
帝国議会始・・・1890＝ 5歳：尋常小学校に預けられる。

日清戦争始・1894＝ **9歳**：茨木の養精高等小学校に進み、

八幡製鉄始・1897＝12歳：大阪府立第四中学校に入学。

『政治地理の授業で’四方海の日本は水産業こそ進むべき道で、その専門学校として水産講習所がある’と教えられ、

日比谷公園・1903＝**18歳**：農商務省水産講習所製造科に入学。
日露戦争始・1904＝19歳：日露戦争が起きると、軍の缶詰需要が飛躍的に高まり、講習所の生徒として、各地の缶詰工場を指導、
日露戦争終・1905＝20歳：日比谷公園焼打事件では急先鋒となって行動するなど、無鉄砲さは健在で、
満鉄発足・・・1906＝21歳：卒業後、東洋水産会社に就職し技師長となる。

大逆事件判決1911＝26歳：メキシコの太平洋沿岸の水産調査に協力することになり、現地企業と雇用契約、
明治天皇没・1912＝**27歳**：メキシコに渡り、缶詰工場建設を指導。
大正政変・・・1913＝28歳：メキシコ革命が起きたため、アメリカへ移り、製缶技術を学んで帰国。
カムチャツカに渡って缶詰づくりしたり、再渡米を試みるも、父から結婚を諭され、

ロシア革命・1917＝32歳：東洋製缶会社を創立して支配人となり、
以後20余年、全国各地に工場を建設して、製缶事業にうちこむ。

原敬首相暗殺1921＝**36歳**：

海軍軍縮条約1930＝**45歳**：
満州事変・・・1931＝46歳：

帝人疑獄事件1934＝49歳：東洋鋼板を設立してブリキ生産にも進出。

日中戦争始・1937＝52歳：日中戦争が始まって、
鉄の供給が減ったため、

第二次大戦始1939＝**54歳**：直談判しに満州に渡って、ミイラ取りがミイラとなり、
日米開戦・・・1941＝56歳：鮎川義介に招かれ満州重工業開発会社副総裁に就任。
・・・1942＝57歳：鮎川の後を受け総裁となる。

敗戦・・・1945＝60歳：終戦時は、在満日本人会会長として日本人の引揚げに尽力。

新憲法施行・1947＝62歳：帰国。公職追放を受けるが、
極東裁判決・1948＝**63歳**：

独立回復・・・1951＝66歳：
メテオ事件・1952＝67歳：*解除になって、電源開発会社初代総裁に就任。
佐久間ダム建設に際しては、みずから渡米、先進ダム技術を学んでこれに生かした。
自衛隊発足・1954＝69歳：*同総裁を辞し、第1次鳩山一郎内閣で経済審議庁長官に就任。
55年体制始・1955＝70歳：民主党から衆議院議員に当選(以後連続4回当選)。第3次鳩山内閣経済企画庁長官。外交で活躍、アジア・
フリカ会議(バンドン会議と翌年のコロンボ計画の会議)の政府代表。
国連加盟・・・1956＝71歳：日比賠償協定交渉の首席全権委員。
なべ底不況・1957＝**72歳**：
イヌイトラメノ・1958＝73歳：第2次岸信介内閣通商産業大臣となると、全ての会社役員を辞任、日ソ漁業交渉の政府代表にもなり、
美智子妃・・・1959＝74歳：科学技術庁長官・原子力委員会会長を兼務するが、辞任し、大日本水産会会長に就任。
安保闘争・・・1960＝75歳：再び、日ソ漁業交渉の政府代表、
全国総合計画1962＝77歳：*三度、日ソ漁業交渉の政府代表、経済使節団長として訪中、廖承志との間で“日中総合貿易に関する覚書”
に調印、両名の頭文字をとって“LT貿易”と呼ばれ、その後の日中国交改善に大きく貢献して、
東京リビッガ 1964＝79歳：没した。